

【工夫のポイント】

- 基盤整備を契機に1ha以上の大区画ほ場を形成、営農の効率化に寄与
- 地区内農業法人の6次産業化による売上増
- 田んぼダム導入に伴う流域治水意識の醸成

ほ場の大区画化及び用排水整備による作業効率の向上、計画的な営農の実施

【整備前】

- 狭小な区画、農道
- 慢性的な排水不良



整備後

- ほ場の大区画化、農道の拡幅・舗装により大型機械の導入も可能となる。担い手の作業効率の向上、経営規模拡大の基盤づくりに寄与する。



【取組地域の概要】

- 位置
こが ゆうき
茨城県 古河市、結城市

こうえざき
幸江崎地区



茨城県

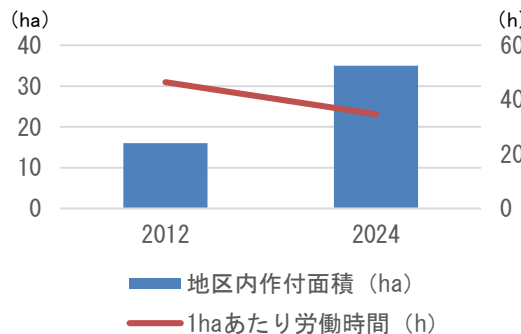
- 地区面積
・126.6ha

- 主要作物
・水稲、ばれいしょ、そば、小麦

- 主な関連事業
・県営かんがい排水事業
霞ヶ浦用水Ⅲ期地区(H5～)

地区内農業法人の6次産業化による売上増、担い手の田んぼダム設置意識の向上

- 整備前と比較し、労働時間は3割程度減少。整備前の小区画ほ場では、そばや小麦の栽培に限られたが、大区画化に伴いばれいしょの栽培が可能となり、地区内農業法人が規模拡大を進めた。
→大手製造業者との栽培契約によるばれいしょの出荷量が増加。法人の売上が増加し、経営の安定化につながる。
- そばの収穫・加工を行い、直営のレストランにて販売することで、6次産業化を実現。加えて、稲・そば等の直売、いちご狩り等実施により、消費者と継続的な関係を築く。地域及び県外への認知拡大を進めている。
- 古河市の流域治水プロジェクトの発足に伴い、田んぼダムを導入する担い手が増加。本地区は1級河川西仁連川沿いに広がるため、地区内での治水意識の醸成のみならず、周辺地域への効果波及が期待される。



そばは直営のレストランにて提供されている。



田んぼダム設置の様子